

## 平成 31 年度 全国学力・学習状況調査結果の分析

山北町教育委員会

平成 31 年度全国学力・学習状況調査が、平成 31 年 4 月 18 日に全国の小学校 6 年生及び中学校 3 年生の全児童・生徒を対象に実施されました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的にしています。

その結果が、8 月末に文部科学省から送られました。学校は、教科ごとに児童・生徒一人ひとりに個人票を返すとともに、全体の結果を分析したうえで指導と改善に努めています。

### 【教科に関する調査】

教科による内容項目において、良好な点及び課題点は次のとおりでした。なお平均正答率では、中学校英語においては、全国平均と同程度の結果となりましたが、他教科は小学生・中学生ともにやや低い状況がみられました。

#### 《小学生》

○国語 目的に応じて、文や文章全体を概観して効果的に読む問題は、比較的正答率が高いです。普段から文全体を捉えて読み取ろうと取り組んでいる成果が感じられます。その一方で文と文のつながりを考えながら接続語を使って内容を分けて書くことにつまずく子が多く、いろいろな書き方でより分かりやすく表現することに課題があります。

○算数 台形についての理解や、棒グラフから資料の特徴を読み取る問題はよくできており、普段の授業で算数的活動をたくさん取り入れている成果が伺えました。一方、減法の計算の仕方をまとめたもの（例示）をもとに、除法の計算について自分でまとめる問題では、記述の仕方に戸惑っている様子が伺えました。解法の説明などの表現の仕方に課題があります。

#### 《中学生》

○国語 自分で選んだ短歌から感じたことや考えたことを書くなど、文章に表れているものの見方や考え方について自分の考えをもち、表現する問題が特に高い正答率でした。普段から自分の考えをまとめたり、表現したりする機会を効果的に生かしていると考えられます。一方、必要な情報を集め、封筒に住所や投稿先などを書く問題での戸惑いが見られます。学校での学習に加え、日常生活での学びの機会も必要であると考えます。

○数学 基礎的な計算や知識を問う問題が比較的よくできました。一方、筋道を立てて解決する力や、根拠を元に的確に説明する問題については、無回答率が高くなり難しさを感じていることが分かりました。

○英語 英語での会話から情報を正確に聞き取る問題に関しては、比較的よくできていました。特に教室で使われる英語表現の内容に関しては、普段からの学習が生かされていると感じます。また、まとまりのある英語を聞いて話の内容や必要な情報を聞き取ることにしてもよくできていました。英語での表現を積極的に取り入れた授業の工夫やALTの活用などの成果が出ていると考えられます。一方で、肯定文や否定文などを正確に書く問題や自分の考えをまとめ、英語で書く問題では、正答率が低く、無回答率も高い結果であり、書くことに難しさを感じている生徒が多いことが分かります。

### 【児童・生徒質問紙調査】

生活面や学習面に関する質問が小学校は 58 項目、中学校は 69 項目で行われました。全体として小・中学生ともに、前向きに生活をしている様子が見られます。自己肯定感が高い児童・生徒が多く、ものごとを最後までやり遂げる粘り強さが感じられます。また、小・中ともに、規則を守ることなどの規範意識やいじめを許さない人権意識の高さが目立ち、人権の町山北がしっかりと浸透していることが伺えます。将来の夢をもち、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童・生徒が多く、国語や英語の学習が将来につながることを意識している子が多いことも特徴的です。また、中学生になると、読書が好きな生徒が多くなる傾向がありますが、一方まったく読書をしない生徒との二極化がみられます。

家庭生活では、テレビやゲーム等に費やす時間が多く、学習の時間が少ない傾向にあるようです。自分で計画を立てて勉強する習慣が十分身につけていない児童・生徒が多くみられ、家庭での学習の仕方を学ぶことに課題がみられます。

### 【今後の取り組み】

- ① 県指定を受けて「かながわ学びづくり推進事業」に取り組んでいます。研究の 4 年目は各学校の課題解決に向けた一層の取り組みと、各教師の授業力向上、児童・生徒一人ひとりの「みとり」に力を入れていきます。
- ② 9 月の学びづくり推進委員会において、各校の代表教員が小・中学校の問題に取組み、問題の傾向や、今求められている力について協議を行いました。そこでの気づきや新たな課題について各校の授業に生かしていくことを確認しました。
- ③ 学習や読書の習慣を身に付けさせるためにも、家庭学習の重要性について再認識し、学校全体で共通理解を図って取り組みます。
- ④ 授業の中で、グループ活動を積極的に取り入れ、他の人と意見を交流し、自分の考えを表現する場を多く取り入れてきたことに一定の成果が見られました。今後は話す力、聞く力をさらに育成するとともに、複数の意見や考えを再構築して自分の考えをまとめる力を育てます。